

国会論戦で
ハッキリ

国民の立場から新政権の問題点をただし 政治をさらに前へ動かす 日本共産党



伊藤 岳 がく

日本共産党 国会議員団
埼玉県事務所長

2010年参院選 埼玉選挙区予定候補

日本共産党埼玉県委員会、参院選埼玉選挙区予定候補に伊藤岳氏を決定し、発表しました。

国民の「政治を変えたい」「くらしを守りたい」という願いが、自公政権を退場させました。しかし、臨時国会で、民主党政権は、労働者派遣法、後期高齢者医療制度、沖縄の米軍基地問題など自公政治からの転換が求められている。要の問題で、選挙時の公約

雇用問題

「このままでは昨年の『派遣村』より悪化」「旧来の延長でない失業者支援、労働法制の抜本的な転換を」

「(民主党政権の)緊急雇用対策は、自公政権の対策の延長線上にしかなく、昨年末の『年越し派遣村』の再来を防ぐことはできない」——日本共産党は厳しく指摘し、失業給付の緊急延長などの「緊急対策」の実施、労働者派遣法の抜本改正を求めました。派遣法の改正については、鳩山首相から「通常国会への法案提出をめざす」という回答がありました。

後期高齢者医療制度

「延長させれば、さらなる混乱と負担増に」「先送りすることなく、ただちに廃止を」

民主党は「混乱する」という自公政権と同じ口実で、廃止を先送りする姿勢です。しかし、延長されれば、制度に組みこまれる人がふえ、保険料引き上げという負担増も押しつけられます。そもそも後期高齢者医療制度で「年齢による差別」がもたらされたことが、いまの大混乱のおおもとにあります。日本共産党は、ただちに廃止するために、国民のみならずと力をあわせてがんばります。

とくいちがう、後退する態度が次々と現れていきます。日本共産党は、くらし、雇用、平和などでの国民の願いにこたえて、政治を前向きに打開するために全力をあげています。

沖縄・普天間基地問題

「県内たらいまわしは、公約違反」「新基地建設は許さない、対米従属外交からの転換こそ」

「米国に一喝されたら、公約を覆す。これで『対等の日米関係』といえますか」——日本共産党は、普天間基地は即時閉鎖し、県内移設・新基地建設をやめるよう求めています。11月8日には、「辺野古への新基地建設と県内移設に反対」をかかげる県民集会が2万人で大成功。世論と運動をさらに広げて、基地のない平和な沖縄と日本をつくるために力をつくします。

「政治とカネ」、解釈改憲の動き

鳩山首相の「偽装献金」疑惑につづき、小沢幹事長の政治資金パーティーの虚偽記載疑惑も。国会で徹底的な真相究明が必要だ。民主党は、「官僚答弁の禁止」「政治主導」といながら、自衛隊の海外での武力行使は「違憲」とした内閣法制局長官の見解を公然とくつがえさせるしくみをつくらうとしています。日本共産党は厳しく反対します。

ごあいさつ

「普通に暮らしたいと思うことも許されない」。県民の皆さんのこうした声を届けるべく、国会に駆け上がる決意です。政権が変わるだけで、政治が変わるわけではありません。ご一緒に力を合わせ、運動すすめ、政治を前に動かしていきましょう。その先頭に立って全力をつくします。

プロフィール

1960年埼玉県生まれ、49歳。県立越ヶ谷高校・文教大学卒業。民青同盟埼玉県委員長、党さいたま地区副委員長など歴任。2007年県議選・2009年衆院選に立候補。現在、党県常任委員・国会議員団埼玉県事務所長。

ブログで日々の活動を報告しています

現場の声を「新しい政権」へ——伊藤岳の「かけある記」 <http://pub.ne.jp/itogaku/>

新埼玉

2009年11・12月号外 日本共産党埼玉県委員会の見解を紹介します。 <http://www.jcp-sai.jp/>
発行/日本共産党埼玉県委員会 さいたま市大宮区北袋町1-171-1 TEL048-658-5551